

記入例

様式第四（第六条関係）

公共下水道使用開始（変更）届

令和〇〇年 〇月 〇日

※使用を開始する日まで

宮崎市上下水道事業管理者（流域下水道管理者） 殿

申請者

住所 宮崎市〇〇町××-△ 電話番号〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

氏名又は名称及び法人にあ 株式会社 給排水設備工業

つてはその代表者の氏名 代表取締役社長 下水 太郎

次のとおり公共下水道（流域下水道）の使用を開始（変更）するので届け出ます。

排除場所	宮崎市〇〇町××-△		排水口数	2
排水汚水の水量又は水質	水量	月平均 2,560 立方メートル 日最大 100 立方メートル		
	水質	下記のとおり		
開始年月日	令和 〇〇 年 〇 月 〇 日			
処理方法	中和法	施設名称	中和処理施設	

記

項目	排水口	No.1	No.2				単位	
	月量	2,500 立方メートル	60 立方メートル	立方メートル	立方メートル	立方メートル		
温度		18.0					度	
アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素含有量		0.03 未満 0.12					ミリグラム/リットル	
水素イオン濃度		12					水素指数	
生物化学的酸素要求量		0.9					5日間 ミリグラム/リットル	
浮遊物質		1 未満	生活排水				ミリグラム/リットル	
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	鉱油類含有量	0.5 未満						ミリグラム/リットル
	動植物油脂類含有量	0.5 未満						ミリグラム/リットル
窒素含有量		0.30						ミリグラム/リットル
燐含有量		0.14						ミリグラム/リットル
沃素消費量		0.5 未満						ミリグラム/リットル
カドミウム及びその化合物		0.001 未満						ミリグラム/リットル
シアン化合物		0.1 未満						ミリグラム/リットル
有機燐化合物		0.1 未満						ミリグラム/リットル

鉛及びその化合物	0.005 未満					ミリグラム/リットル
六価クロム化合物	0.01 未満					ミリグラム/リットル
砒素及びその化合物	0.005 未満					ミリグラム/リットル
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	0.0005 未満					ミリグラム/リットル
アルキル水銀化合物	0.0005 未満					ミリグラム/リットル
ポリ塩化ビフェニル	0.0005 未満					ミリグラム/リットル
トリクロロエチレン	0.002 未満					ミリグラム/リットル
テトラクロロエチレン	0.001 未満					ミリグラム/リットル
ジクロロメタン	0.002 未満					ミリグラム/リットル
四塩化炭素	0.0002 未満					ミリグラム/リットル
1, 2-ジクロロエタン	0.0004 未満					ミリグラム/リットル
1, 1-ジクロロエチレン	0.002 未満					ミリグラム/リットル
シス-1, 2-ジクロロエチレン	0.004 未満					ミリグラム/リットル
1, 1, 1-トリクロロエタン	0.005 未満					ミリグラム/リットル
1, 1, 2-トリクロロエタン	0.0006 未満					ミリグラム/リットル
1, 3-ジクロロプロペン	0.0002 未満					ミリグラム/リットル
チウラム	0.006 未満					ミリグラム/リットル
シマジン	0.003 未満					ミリグラム/リットル
チオベンカルブ	0.02 未満					ミリグラム/リットル
ベンゼン	0.001 未満					ミリグラム/リットル
セレン及びその化合物	0.001 未満					ミリグラム/リットル
硼素及びその化合物	2.1					ミリグラム/リットル
ふつ素及びその化合物	0.1					ミリグラム/リットル
1, 4-ジオキサン	0.005 未満					ミリグラム/リットル
フェノール類	0.05 未満					ミリグラム/リットル
銅及びその化合物	0.01 未満					ミリグラム/リットル
亜鉛及びその化合物	0.01 未満					ミリグラム/リットル
鉄及びその化合物 (溶解性)	0.1 未満					ミリグラム/リットル
マンガン及びその化合物 (溶解性)	0.02 未満					ミリグラム/リットル
クロム及びその化合物	0.05 未満					ミリグラム/リットル
ダイオキシン類	0					ピコグラム/リットル
※						
摘要	分析結果による					

備考

- ※印のある欄は令第9条の11第1項第6号に該当する項目について記載すること。
- 「摘要」の欄は、排出汚水の水量又は水質の推定根拠等を記載すること。
- 除害施設の設置等を要する場合には、その概要を明らかにする図書及び図面を添付すること。

様式四 記入上の注意

この様式は、日最大排水量が50m³以上、又は基準に適合しない下水を排除する場合に要する。

この様式は、使用の「開始」及び「変更」の両方の場合に併用するので該当しないほうを抹消してください。

(1) 「年月日」

届出を行う年月日を記入してください。

(2) 「申請者の住所、氏名」

①法人の場合は、本社等の所在地又は当該届出事業場の所在地を記入してください。

②申請者が個人にあっては、屋号を含めて記入してください。

③申請者が法人にあっては、名称及び代表者の肩書き及び氏名を記入してください。

④法人の工場等が申請者となる場合、名称は工場名まで記入し、代表者は工場長とし、法人の代表者から工場長あての委任状を添付してください。

(3) 「排除場所」

公共下水道を使用する事業場の所在地を記入してください。

(4) 「排水口数」

公共下水道への排水口の数を記入してください。

(5) 「排出汚水の水量及び水質」

過去1年間の平均月量及び日最大量とし、新設の場合は、推定量を記入してください。

平均水量：1年間の排水量を12箇月で割った値 (m³)

日最大水量：1年間の排水量のうち期最大排水量を期工場操業日数 (25日操業/月×2箇月=50日) で割った値 (m³)

水質：公共下水道への排水口ごとに番号を付け、排水口ごとに排水量及び該当する水質 (処理施設を経由する前の原水の水質) の値

生活系統のみ排出する排水口の水質は不要。

(6) 「開始 (変更) 年月日」

使用開始又は変更を行おうとする年月日を記入してください。

(7) 「処理方法」

水質項目別に処理方法を記入してください。例えば、中和法と記入してください。

(8) 「施設名称」

例えば、中和処理施設と記入してください。

(9) 「項目」

作業工程において使用する原材料、薬品等から判断して水質項目を定め、その分析値を記入してください。

(10) 「排水口」

公共下水道への排出口の呼称を決めNo.1、No.2等と記入してください。

(11) 「月量」

排水口ごとに1箇月の水量を記入してください。

(12) 「事業場の概要図書」

次の書類を作成し添付してください。なお、同時に提出する特定施設の設置届出書の別紙(1)～(5)と内容が重複する場合は、当該部分を参照することとして添付を省略してください。

①事業場概要

資本金、全社の従業員数、当該事業場の従業員数、製品名、案内図、事業場配置図

②事業場の操業概要

操業時間、操業フローシート、原材料 (消耗資材を含む。)

③汚水の処理概要

用水及び排水の系統図、汚水処理フローシート、除害施設の配置図、構造図、使用薬品名

④その他